

小中一貫教育基本方針
 ふるさとを愛し、
 自らの夢に挑む
 自立した子どもの育成

小中一貫教育をとおして子どもの力を育む かとうの教育

加東市では、すべての中学校校区において小中一貫教育を行っています。中学校区ごとに、9年間を貫いた教育目標を定め、小学校と中学校が、つながりを意識した切れ目のない教育活動を行い、子どもたちの発達段階と一人ひとりの特性に応じた学びを大切にしています。



第3期 加東市教育振興基本計画

基本理念 人間力の育成
 ～豊かな学びが 新しい自分と地域を育むまち 加東～

基本方針I 未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進
 ～学びの連続性を大切にされた教育の充実～



めざす子ども像



社地域
 向上心
 ～共に学び、夢に挑む
 自立した子どもの育成～

滝野地域
 ともに学び、たくましく、
 夢に挑む子どもの育成

東条地域
 自ら学び、こころ豊かに
 たくましく生き抜く学園生の育成

義務教育9年間を4年－3年－2年の3つのステージへ



発達段階に応じて、
 ステージごとに
 目指す姿を明確に

3つの「つながる」

3つの「つながる」をキーワードに

コミュニティ・スクール（地域とともにある学校）

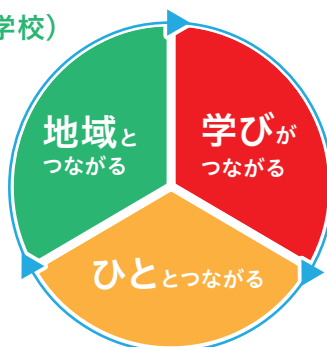
「学校運営協議会」を置き、社会総がかりで子どもたちを育てる仕組みづくりをします。

ふるさと学習「かとう学」

地域人材や教育資源を活用し、すべての教科を通して郷土への愛着を深め、よりよい社会づくりに向けて、主体的に行動する態度を育成します。

異学年交流

人と関わる機会を増やし、自己有用感や責任感を育み、上級生への憧れと下級生への思いやりの心の醸成を図ります。



9年間を通したカリキュラム

指導方針や各発達段階で育てたい力を共有し、9年間の系統性・連続性のある取組により、確かな学力の定着、向上をめざします。また、英語教育やICT教育の充実などを図ります。

学習指導の充実

小学校での教科担任制や小中学校間での乗り入れ授業等、専門性を活かした魅力ある授業の展開、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

切れ目のない一貫した支援

9年間を通して子どもを見守り育てる生徒指導体制により、問題行動の未然防止と早期対応を図ります。また、特別な支援を必要とする児童生徒について、全教職員が共通理解します。